

2023.3.25

動ける自由を ～装具のはじめの一步～



支援機器 Osaka Team C

共同開発者
老人保健施設アイリス OT山田 太一
貴志川リハビリテーション病院 PT田津原 佑介
帝塚山リハビリテーション病院 PT山崎 道晴


1



脳卒中患者は
日常生活で困ることが多い

2

「歩く」が阻まれるということ、
誰かに履かせてもらわないといけないということ



* この方は装具が履ければ、一人で歩くことができます・・・

3

脳卒中と装具

40万人が使用



長嶋茂雄さん

画像出典2023.3.25
<https://www.kawamura-ajishi.co.jp/>
<https://www.sponichi.co.jp/sports/news/2021/07/23/kiii/20210723s00048000555000c.html>

4

課題

約 **3人** に
1人 が自分で履けない
 それを助ける福祉用具もない



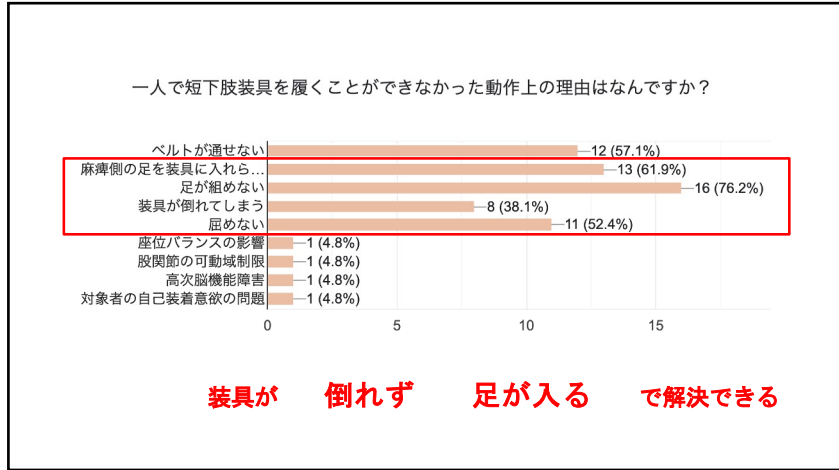
5

MISSION

脳卒中患者に対して
 一人で装具が装着できる



6



7

商品コンセプト



プロトタイプ案

踵に支援機器をはめ込み、倒す



ベルトを止めるメス側を支援機器に貼れるようにする

- ✓ 装具が倒れず固定できる
- ✓ 座位が安定し易い後傾角度

8

プロトタイプ of 脳卒中患者デモ

- ・ 右片麻痺の男性 (40歳代)
- ・ 下肢BRS : stage I
- ・ 短下肢装具の装着練習を初めて実施

「履けたー!」という喜びの声をいただきました

9

ビジネスモデル

ひとりで履け～るくん (仮)
販売価格: 10000円
障害福祉サービスとしての承認目指す
(自己負担1割、公費負担9割)

装具が履けない脳卒中者 12万人以上

10

ビジネスモデル

障害福祉サービス

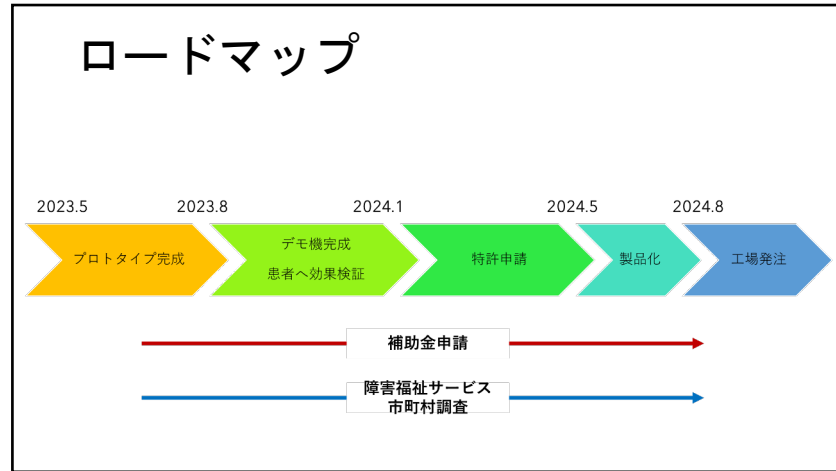
11

市場規模

日本市場: 12億円 (12万人 × 10000円)

世界市場: 1.7兆円 (1億7千万人 × 10000円)

12



13

Professional Team

- 第一線で活躍する理学療法士と作業療法士
- ニーズに即した商品開発ができる環境

帝塚山リハビリテーション病院 老人保健施設アイリス 貴志川リハビリテーション病院

DT山崎 浩晴 OT山田 圭一 PT田津原 佑介

14



15